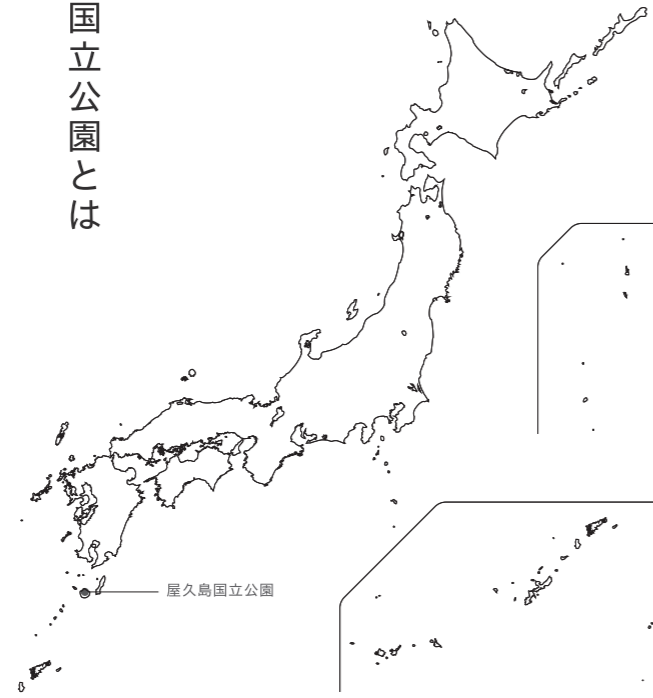


屋久島 国立公園

National Parks of Japan

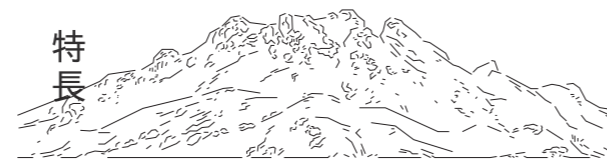


国立公園とは



国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで34の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。

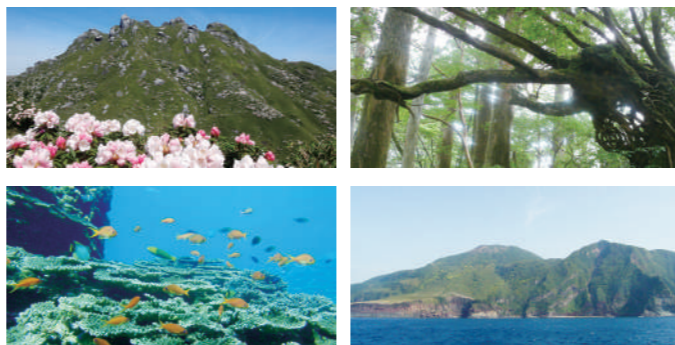
特長



千年を超えて巨樹が息づく
日本屈指の山岳島と
大地の熱と荒波が育む命溢れる火山島

屋久島国立公園の屋久島と口永良部島は、ともに黒潮が流れる豊かな海にある島です。12kmしか離れていないにも関わらず、全く異なる成立過程と自然景観を有しています。屋久島は、九州最高峰の山々が聳える急峻な地形を有するとともに、樹齢千年を超えるスギなどの巨樹・巨木の天然林が広がる特異な自然景観を有しており、その「自然美」は世界遺産の顕著な普遍的価値として認められています。一方、口永良部島は現在も火山活動が続く薩南諸島最大の火山島です。島東部には火山景観が広がり、海岸部には荒波に削られた海岸崖や海食洞窟などの自然海岸が残っています。また、火山島でありながら植生に覆われ、エラブオオコウモリなどの屋久島とは異なる動物もみられます。

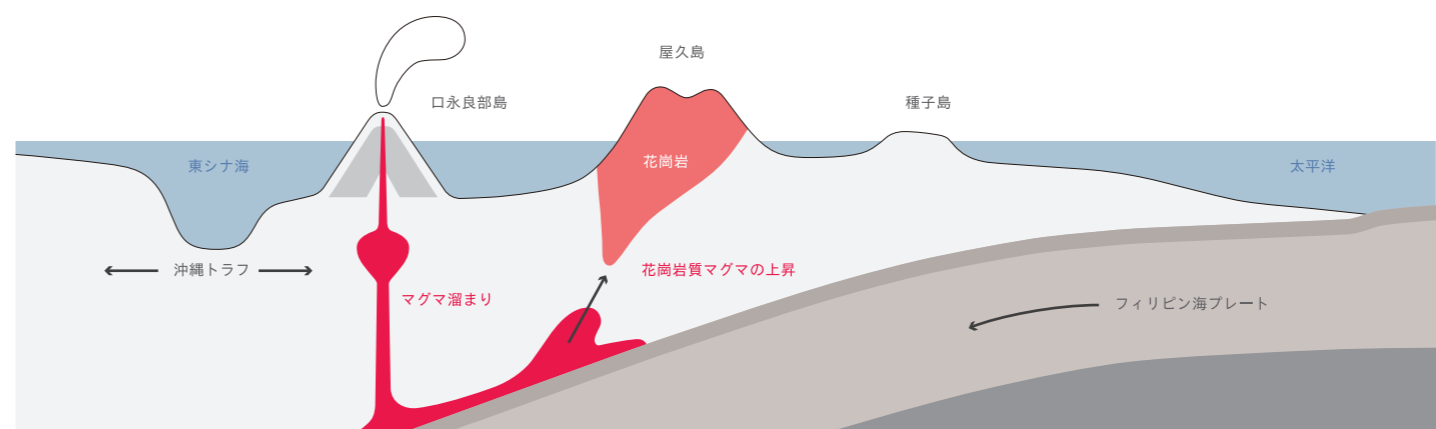
【指定年月日】平成24年3月16日 【面積】24,566ha
【関係都道府県】鹿児島県



地形地質



屋久島は、海底に形成されたマグマ溜まりが冷え固まってできた花崗岩が風雨による浸食よりも速く隆起して、山岳島になったと考えられています。そのため、山頂付近には風化と浸食の作用を受けた花崗岩の奇岩や巨岩が点在する特異な景観が広がっています。また、屹立した山岳と黒潮の影響により、屋久島には多量の雨が降ります。そのため、島には河川や滝が多く、河川の浸食によってできた急峻な谷が見られます。一方、口永良部島は現在も活発な火山活動を続ける火山島で、東西10の火山体が集合した島だと考えられています。島の西部は古い火山体ですが、東部は新しい火山体で屋久島にはないダイナミックな火山景観がみられます。また、大部分の海岸が自然海岸として残されており、切り立った海食崖や海食洞窟などの特異な景観がみられます。



花崗岩が露出する稜線

安房川のV字深谷

古岳火口

寝待の立神

取り組み



— 携帯トイレの利用促進 —

近年、屋久島の山岳部を訪れる人が増え、山岳部に残されるし尿の処理が大きな課題となっています。そこで、屋久島の山岳部では、登山者が自らのし尿を自分で持ち帰る携帯トイレの利用を呼びかけています。「世界自然遺産にはゴミを残さない」という取り組みにご協力下さい。

— 永田浜におけるウミガメの保護と観光利用の取り組み —

永田浜は、アカウミガメの重要な産卵地としてラムサール条約湿地に登録されています。ここでは、ウミガメの生態に配慮したルールが定められ、ルールに基づく砂浜の利用が地域の方々によって推進されています。地域の資源を地域で守る取り組みにご協力下さい。

— 順応的管理の取り組み —

屋久島世界自然遺産の保護管理には、予測が難しい複雑な生態系や時代に応じて変化する保護と利用の適正なバランスへの配慮が求められます。世界遺産としての価値を損なうことなくより良い形で後世に引き継いでいくためには、将来予測の不確実性を前提に対策を検討・実行し、その効果を検証して、計画の見直しや対策の強化・変更をするという順応的管理が必要です。このため、屋久島では、科学的知見や客観的なデータに基づく順応的管理のための体制が構築されています。



携帯トイレブース

ウミガメ観察会

連絡先一覧

九州地方環境事務所
〒860-0047 熊本県熊本市西区春日2-10-1
熊本地方合同庁舎B棟4F
TEL | 096-322-2412 | FAX | 096-322-2447
URL | <http://kyushu.env.go.jp>

屋久島自然保護官事務所
〒891-4311 鹿児島県熊毛郡屋久島町安房前岳2739-343
TEL | 0997-46-2992 | FAX | 0997-46-2977

屋久島国立公園サイト
<http://www.env.go.jp/park/yakushima/>



火山情報をご確認ください
https://www.jma.go.jp/jp/volcano/map_6.html



口永良部は、火山活動の状況によって立入規制区域等が設定されています。事前に噴火警報等を確認してください。

環境省 発行者：環境省
発行年：2018年

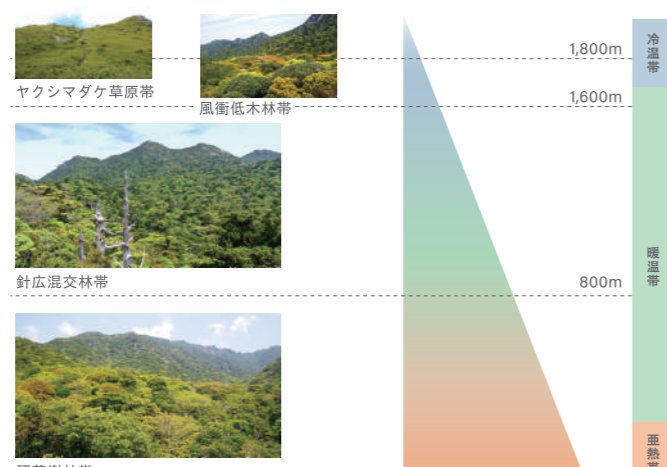
※ 見どころ案内マップは、指定区域の概要を示すために作成したものであり、誤差があることを考慮した上でご利用ください。

植動物



— 垂直分布 —

屋久島には標高1,800mを超える山々があり、山頂付近は北海道の札幌と同じような気候となります。このため屋久島では、亜熱帯から冷温帯に成立する多様な植生が標高に応じてみられます。低標高域にはガジュマルなどの亜熱帯性植物がみられ、標高800m付近まではシイ、カシ類を主とした照葉樹林が広がります。さらに標高があがると針葉樹と広葉樹が混生する針広混交林が標高1,600m付近まで広がります。標高1,600m以上になると、強い風の影響を受けた低木がみられる風衝低木林が広がり、標高1,800m以上の山頂付近ではヤクシマダケの草原帯が広がります。このように異なる植生が標高によって分布することを植生の垂直分布と呼び、それが連続して残る屋久島の「生態系」は世界遺産の顕著な普遍的価値として認められています。

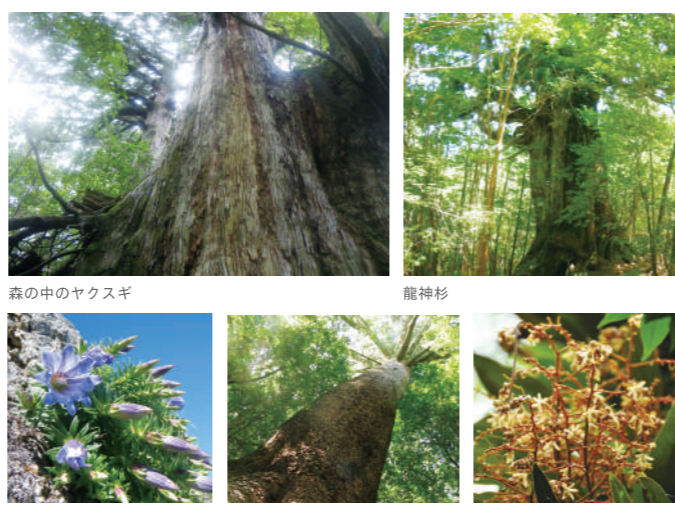


— 巨樹・巨木の天然林 —

スギは日本にだけ自生する樹木で、日本の中でも天然のスギ林が残存している場所は限られています。なかでも、一般的に樹齢500年程度が寿命とされるスギが1,000年を超えて生育する場所は、屋久島だけです。ヤクスギを育む屋久島の天然林は、世界的にとっても貴重な森林です。

— 固有種・希少種 —

高標高域を含む多雨な島嶼生態系がある屋久島には、多種多様な高山植物やランなどの種子植物、シダ植物及びコケ植物がみられます。また、ヤクシマリンドウなど島にしかない植物は94種ほどいとされます。一方、口永良部島には、タカツランなど屋久島ではあまり見られない植物が自生しています。



森の中のヤクスギ

龍神杉

ヤクシマリンドウ

ヤクタネゴヨウ

タカツラン

— 動物 —

屋久島の動物相は、本州と大きく変わりませんが、屋久島は多くの種の分布の南限となっています。また、約15,000年前に九州本土から分離したため、固有亜種や固有種もみられます。哺乳類はヤクシカ、ヤクシマザルなどの16種、鳥類は167種、爬虫類は15種、両生類は8種が確認されています。なかでも、屋久島は絶滅危惧種であるアカウミガメの主要な産卵地となっており、屋久島への上陸回数は日本で確認される年間上陸回数のおよそ半分を占めるとされています。一方、口永良部島には、屋久島とは異なる動物相がみられます。哺乳類は天然記念物にも指定されているエラブオオコウモリを含む12種、鳥類は48種、爬虫類はエラブウミヘビを含む5種が確認されています。また、屋久島と口永良部島の周辺海域は、多様な海洋生物が生息し、約1,000種の魚類や700種以上の貝類が確認されています。



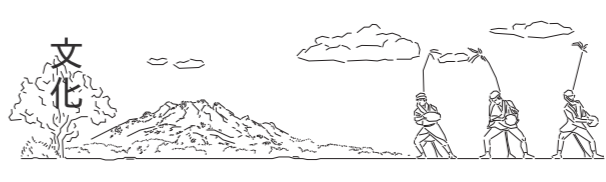
ヤクシカ

ヤクシマザル

アカウミガメ

エラブオオコウモリ

文化



屋久島では、集落のある空間を「里」、里から見える山々で神々や人が出会う場所を「前岳」、里から見ることができない山々で神々の領域を「奥岳」と呼びます。この島民の自然観に基づく集落行事が「岳参り」です。岳参りは、奥岳や前岳の山頂にある石の祠に参拝し、集落の繁栄や安泰、豊漁豊作などを祈願する行事です。屋久島のほぼ全ての集落で今も行われており、集落ごとに詣る山、時期、しきたりが異なります。宮之浦集落にある「牛床詣所」には、岳参りの際に奉納された古い石塔がいくつも残されています。また、ウミガメの産卵地で知られる永田浜のある永田集落では、「亀女踊り」と呼ばれる民俗芸能があります。踊りの動きは、ウミガメの上陸から産卵、海に戻るまでの行動を模したものとされ、集落の繁栄と旅に出た者の安寧を祈願するために現在まで踊り継がれています。このように、島には島の自然と密接に関係した独自の文化が育まれ、今も残されています。



牛床詣り

亀女踊り

国立公園の利用上のマナー

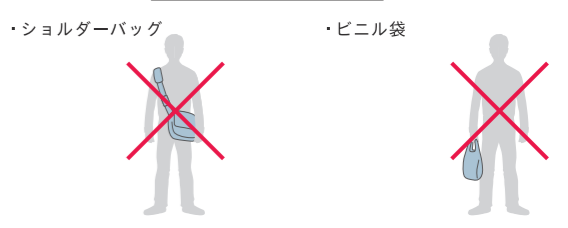
多くの方々に楽しく利用していただくために、国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守ってください。

- ゴミを捨てないでください
- 動物を驚かさないでください
- 花や植物を採らないでください
- 歩行中禁煙
- 野生動物に餌を与えないでください
- たき火は指定の場所で行いましょう

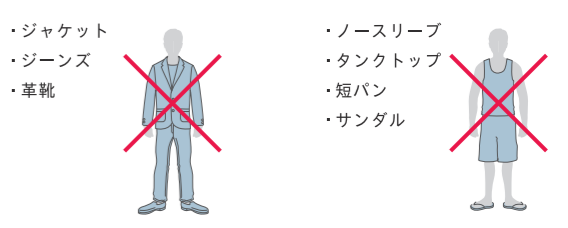
あなたの装備、大丈夫ですか？

屋久島の登山道は長く、危険な箇所もあります。また、山の天候は急変します。安全に登山を楽しむには、万全な準備が必要です。

明らかに不十分な装備



街中で見かけるような服装



このような軽装での登山は大変危険ですのでやめてください！

屋久島



宮之浦岳



モッチョム岳



ヤクシマシクナゲ

縄文杉

屋久島の最大の魅力は山です。九州最高峰の宮之浦岳(1,936m)を筆頭に、標高1,000mを超える山々が39以上連座しており、九州地方の高い山の1位から8位までが屋久島にあります。また、モッチョム岳(940m)などの集落から見える山々も1,000m級の標高を有します。特に標高1,600m以上の山岳部では、4月から6月にかけて、アセビやヤクシマシクナゲなどが季節を追うように咲き乱れ、山々を美しく彩ります。

また、屋久島のもう一つの魅力は、巨樹・巨木が息づく荘厳な森林景観です。代表的なヤクスギとして知られる縄文杉などを育んだ屋久島特有の森林は、標高1,000mから1,400m付近に広がっています。

口永良部島



マルバサツキ



口永良部島の海中

口永良部島の魅力は、火山と海です。島の東部は活火山を含む新しい火山体からなり、古岳山頂では、噴気孔からガスが出る火口や火山ガスの影響を受けた植生などの火山景観がみられます。特に6月から7月は、山頂付近のマルバサツキが開花し、山肌がピンク色に染まります。また、島内各所に温泉が湧いており、照葉樹林やリュウキュウチクの草原で覆われた「緑の火山島」での温泉めぐりも一興です。

一方の海は、タイドプールや奇岩が残る自然海岸に加え、浅瀬でも亜熱帯性の魚とサンゴ群集を観察できる美しい海域景観が魅力です。なお、火山活動の状況によっては立入規制区域等が設定されています。事前に噴火警報等を確認してください。

01 口永良部島から見る屋久島



屋久島では決して見ることのできない景観が口永良部島にはあります。2つの島は12kmしか離れていませんが、全く異なる自然を体感することができます。

02 湯向温泉



火山島である口永良部島には、趣の異なる4つの温泉があります。その1つの湯向温泉は、湯向集落にある温泉です。「湯の花」が舞う離島の秘湯です。

03 白谷雲水峡



苔が繁茂する原生的な森林と花崗岩が削られた渓流を観賞できる場所で、標高600m~1,050mに位置します。屋久島の自然休養林の1つで、ヤクスギと照葉樹の混生した針広混交林を散策できます。

04 ヤクスギランド



その名の通り数多くのヤクスギを観賞できる場所で、標高1,000m~1,300mに位置します。屋久島の自然休養林の1つで、森のなかには古い切り株なども残され、かつての林業の営みも垣間見ることができます。

05 大川の滝



落差88mの屋久島を代表する雄大な滝です。屋久島では、降り注いだ雨が岩盤の上を一気に流れ落ちるため、雨の直後に豹変する姿も魅力です。

06 西部地域

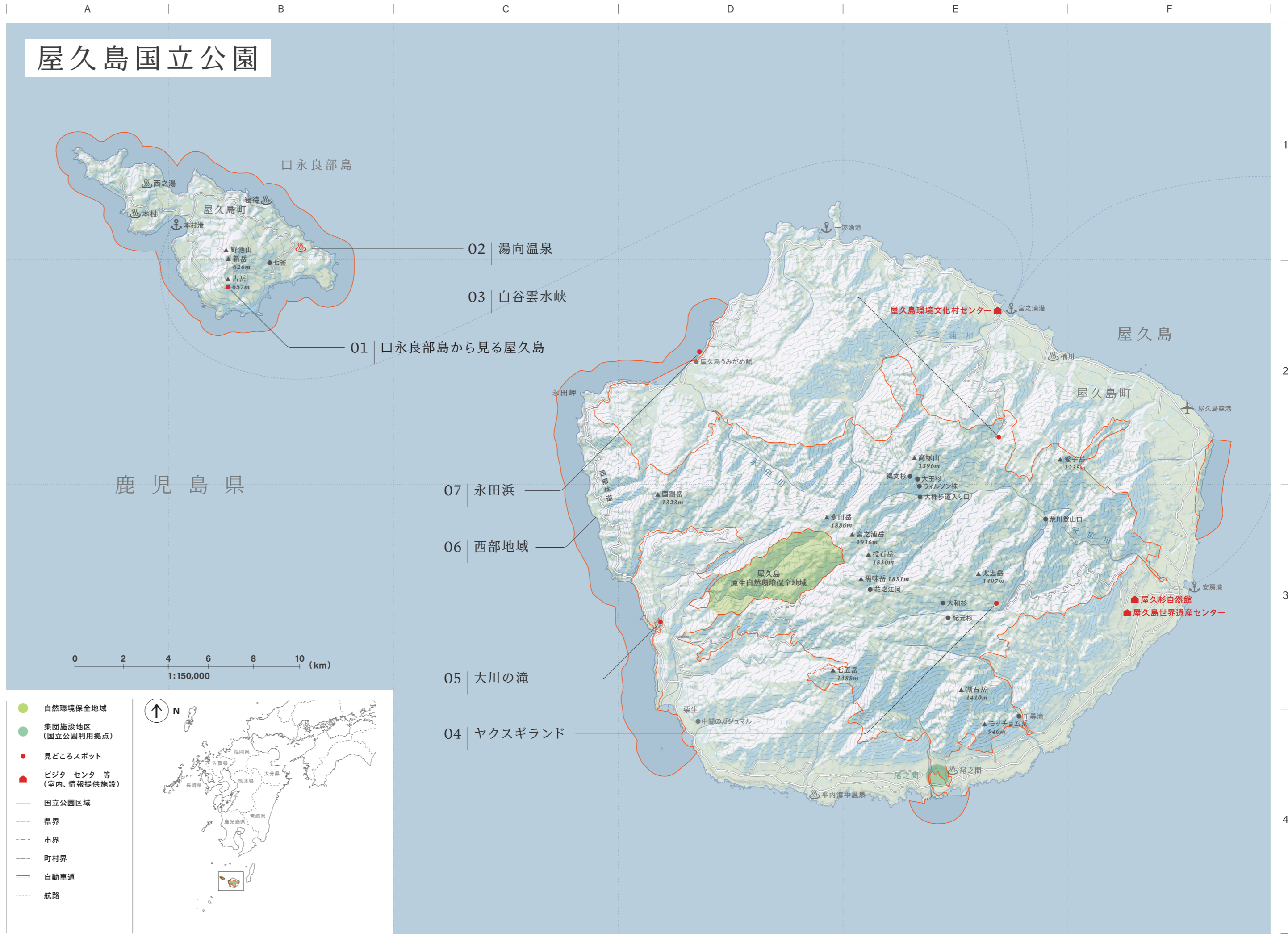


世界自然遺産地域に串で入れる場所です。日本有数の面積を誇る照葉樹林が広がり、ヤクシマザルとヤクシカが数多く生息する地域でもあります。緑のトンネルのなか、サルやシカを観察できます。

07 永田浜



日本一アカウミガメが上陸する砂浜で、ラムサール条約湿地に登録されています。東シナ海に口永良部島を望む島内最大の砂浜で、5月から7月には、ウミガメの産卵も観察できます。



※詳細な区域確認等に当たっては、担当の環境省自然保護官事務所等に問い合わせください。

Activity 里のエコツアー



屋久島の魅力は自然だけではなく、屋久島と口永良部島では、里の魅力も発信しています。地元の方々の案内で集落ごと異なる歴史や文化を直に感じてみてください。

Information 施設案内

屋久島世界遺産センター | F3
〒891-4311 鹿児島県熊毛郡屋久島町安房前岳2739-343
[TEL] 0997-46-2992
屋久島世界自然遺産と屋久島国立公園を紹介する環境省の施設です。屋久島の自然の成り立ちから環境保全の取り組み、登山の際のルールまで幅広く紹介しています。

屋久島環境文化村センター | E2
〒891-4205 鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦823-1
[TEL] 0997-42-2900
屋久島の自然や文化に関する総合的な情報を紹介し、「屋久島環境文化村構想」を推進するための拠点として公益財団法人屋久島環境文化財団が運営する施設です。

屋久島自然館 | F3
〒891-4311 鹿児島県熊毛郡屋久島町安房2739-343
[TEL] 0997-46-3113
ヤクスギだけでなく、ヤクスギと人の関わり、林業の歴史を知ることができる屋久島町の博物館です。

※開館時間などについて詳しくは各施設にお問い合わせください。

Access 交通アクセス

飛行機を利用した場合		
伊丹空港	福岡空港	鹿児島空港
飛行機 約105分	飛行機 約70分	飛行機 約35分
屋久島空港		
高速船を利用した場合		フェリーを利用した場合
鹿児島本港		鹿児島本港
約2-3時間		約4-4.5時間
屋久島 宮之浦港 安房港	屋久島 宮之浦港	

※アクセスルートは一例です。各区間の所要時間は目安です。詳しくは各交通機関の窓口・ホームページなどで確認ください。